

(令和7年2月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	2月の総入荷量は、全国的な低温や太平洋側での記録的な少雨の影響により、多くの品目で収穫量が低下し、前年同月比で15%下回った。総取扱金額は、数量の不足の影響で、キャベツやはくさいを中心に単価高で推移し、前年同月比で7%上回った。 3月以降は、天候次第ではあるが、春野菜が本格化することから、数量は増加することが予想される。近郷野菜では、菜の花が最盛期を迎え、たけのこや木の芽の入荷が始まる。果実では、伊予かんや不知火などの中晩柑類、いちご類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は33%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は53%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は83%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は9%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は15%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は6%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は37%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は22%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は11%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、中低価格帯商品の取引が中心となったことから、単価は22%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	徳島、香川、長崎、和歌山、神奈川などから入荷した。入荷量は前年同月比で25%下回り、単価は67%上回った。 鹿児島を中心に、愛知、長崎、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は60%上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	兵庫、長崎、茨城、滋賀、愛知などから入荷した。入荷量は前年同月比で18%下回り、単価は153%上回った。 愛知を中心に、鹿児島、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は171%上回った。 福岡、京都、茨城を中心に、滋賀、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で32%下回り、単価は56%上回った。 徳島、兵庫、長崎を中心に、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で38%下回り、単価は73%上回った。
【果菜類】 きゅうり なす	宮崎を中心に、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は4%下回った。 高知を中心に、岡山からも入荷した。入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は8%下回った。

とまと	熊本を中心に、福岡、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は14%上回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に、鹿児島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で9%下回り、単価は5%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に、鹿児島、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は64%上回った。
たまねぎ	北海道を中心に、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は7%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は４１％上回った。
伊予かん	愛媛を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は２５％上回った。
不知火	和歌山を中心に、佐賀、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５７％下回り、単価は６３％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で２４％下回り、単価は２２％上回った。
王林	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で５９％上回ったが、輸出の需要が高まり単価は１８％上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は１１％上回った。
アールスメロン	静岡を中心に、高知からも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回ったが、中低価格帯商品の取引が中心となったことから、単価は２１％下回った。